

高等部（1～3年） 生活単元学習 学習指導案

日時	令和7年12月3日(水) 9:40～11:20			場所	体育館
生徒	レンジャー・リンゴ団グループ 1年4名 2年4名 3年2名 計10名				
指導者	T1 安保 司 T2 小林 佑輝				
単元名	「リンゴレンジャー出動(2025) in 八幡平小学校&柴平小学校」				
単元の目標	知識及び技能 ・小学生に公演内容が伝わるように、せりふや相手の動きに合った表現方法を身に付ける。	思考力、判断力、表現力等 ・小学生が「いじめをしてはいけない」と思える公演にするために、場面ごとにどのように演技すればよいか考えたり、意見を出し合ったりする。	学びに向かう力、人間性等 ・公演を成功させるために自分の役割に責任をもって練習に取り組む。		
学習指導要領との関連 教科・目標・内容 「何を学ぶか」	保健体育 ・高等部1段階イ P64 国語 ・高等部1段階A(イ)(ウ)P52 社会 ・高等部1段階ウP75 自立活動 6 コミュニケーション		道徳 B6 思いやり、感謝 P36 B8 友情、信頼 P40 C11 公正、公平、社会主義 P46 C15 よりよい学校生活 P54		
単元(題材)の評価規準 「何ができるようになるか」	知識・技能 ・小学生に公演内容が伝わるように、せりふや相手の動きに合った表現方法を身に付けている。	思考・判断・表現 ・小学生が「いじめをしてはいけない」と思える公演にするために、場面ごとにどのように演技すればよいか考えたり、意見を出し合ったりしている。	主体的に学習に取り組む態度 ・公演を成功させるため、自分の役割に責任をもって練習に取り組もうとしている。		

<生徒と単元>

生徒について

レンジャー・リンゴ団グループは、高等部1年生から3年生(男子8名、女子2名)計10名で構成されていて、配役はリンゴレンジャー5名、くされリンゴ団5名である。全員が会話によるコミュニケーションを取ることができるが、話合いの場面になるとなかなか意見を出せない生徒もいる。これまでの公演経験から、上級生が下級生に演技方法を伝える姿やお互いに意見を出し合いながら練習する姿が見られている。一方で、演技や演出について新しいアイデアを出すことには課題がある。また、学校生活においては、他者との距離感が近いことが原因で、トラブルが起きることがある。配役についてはアンケートを実施し、本人の希望と担任の考えを考慮した配役になっている生徒がほとんどであるため、公演への意欲が高い。鹿りん祭公演では、総合的な探究の時間に自分たちで地域のよさを調べたことを題材にしたことで、生徒が主体的に練習に取り組む姿が見られた。

単元について

リンゴレンジャー公演は、年に3回の単元で構成している。繰り返し行える単元であるため、2回の公演を経て、生徒たちは公演までの流れをつかみ、新たな配役に挑戦したり、引き続き同じ役割を担当することで技能を向上させたりしている。学部合同の生活単元学習であるため、学習を通して他学年の友達との関係作りが進み、お互いに意見を伝え合う関係ができてきている。今年度3回目の公演は、八幡平小学校と柴平小学校の2校で行う。各校にテーマとして取り上げてほしい内容についてアンケートを取り、「いじめ」をテーマに公演を行うこととした。公演を通して、小学生にいじめはいけないことを伝えるのみならず、自分たちの中でもいじめは絶対にしないという気持ちを強くもってほしいと考えている。本単元を通して、学校生活を主体的に送ろうとする姿や意見の出し合いが活発化するなどの成果が期待できる。また、過去2回の公演をやりきることができ、生徒たちには達成感や次の公演への期待感が見られている。また、学習での振り返りを見ると生徒それぞれがよい点と課題を考え、それを基に次時の目標を立てており、この繰り返しが主体的な学習態度として現れてきていると考えている。全員が意欲的に学習活動に取り組み、自分の役割を果たすことで、「いじめはいけない」と思ってもらえる公演を作り上げていく。生徒がいじめについて考えることが良好な人間関係を育成することにつながり、他者と円滑に関わる力を高めることができると考え、本単元を設定した。

指導に当たって

- ・いじめはいけないことについて、小学生に向けてメッセージを書く学習を行い、いじめについて考える時間を設ける。
- ・戦闘シーンで、演技の順番を覚えることができるように視覚的に分かる掲示を準備する。
- ・公演の質を上げるための話合いができるように、練習の内容を撮影してピンポイントで流せるように準備する。
- ・授業ごとに、全員が成果と課題を振り返り次時に生かすことができるように、タブレット型端末のロイノートを活用した振り返りの時間を設定する。

単元目標に対する個別の評価規準「何が身に付いたか」

時数	小単元名 小単元の学習内容	評価の観点			評価規準【評価方法】
		知	思	主	
1～4	オリエンテーション	○			<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話聞き、授業内容や本単元の日程を理解している。 ・適切な公演テーマやダンス曲について考え、提案している。 ・いじめについて、小学生へのメッセージを考えている。 ・台本の内容を理解している。 【発言、メッセージカード、アンケート】
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容について ・公演テーマ検討 ・ダンス曲検討 ・小学生へのメッセージ ・配役発表 ・台本読み合わせ 				
5～10	グループ練習・録音	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・セリフの話し方や感情の入れ方を考えて録音に取り組んでいる。 ・演技内容について自分や仲間の課題を発見し、よりよい演技にするための意見を出している。 ・学びを次時に生かすために授業の最後に自己評価をワークシートに記入している。 【発言、ワークシート】
	<ul style="list-style-type: none"> ・話す ・演技検討 ・演技練習 				
11～26 (本時13・14)	通し練習・プレ公演	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・通し練習やプレ公演の映像を見て感じた、成果や課題について意見を出し合い、改善させようとしている。 ・話し合っ出た改善案から改善練習に生かしている。 【発言、演技練習】
	<ul style="list-style-type: none"> ・通し練習（衣装含む） ・成果と課題、改善点検討 ・改善練習 ・プレ公演 				
27～38	八幡平・柴平小学校公演	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校公演で練習の成果を出している。 ・児童の歓声や反応、感想発表からいじめをしてはいけないと伝わったことが分かる。 ・1回目の公演の反省を2回目の公演に生かそうとしている。 【公演内容、発言、ワークシート】
	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡平小学校での公演 ・振り返りと改善練習 ・柴平小学校での公演 				
39	公演振り返り		○		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校公演までの取組や本番の内容について適切に自己評価している。 ・小学校の児童からのアンケート結果を見て、自分の役割を果たせたか分かる。 【振り返りシート、アンケート】
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校公演全体の振り返り 				

氏名 (学年)	単元目標に対する個別の評価規準	学習評価 ◎○△
A (2年)	・レッド役として、出演シーンの流れを覚え、大きくキレのある演技をする。☑	◎
	・公演をよりよくするために、改善点について意見を出したり友達の考えを受け入れたりして演技を改善する。☑	◎
	・活動に見通しをもち、公演の成功のために、責任をもって役割を果たそうとする。☑	◎
B (1年)	・ブルー役として、登場シーンや戦闘シーンの順番を覚え、自信をもって演技する。☑	◎
	・自分たちの演技を見て、よい点や課題について自分の考えをもち、グループの仲間に伝える。☑	◎
	・活動に見通しをもち、最後まで粘り強く取り組む。☑	◎
C (1年)	・グリーン役として、自分の演技内容を覚え、大きく演技する。☑	○
	・戦闘シーンの演技について、自分の考えをもち、グループ内で発表する。☑	○
	・活動に見通しをもち、最後まで落ち着いた気持ちで取り組む。☑	○
D (1年)	・イエロー役として、自分の演技内容を考え、大きくキレのある演技をする。☑	○
	・演技方法や改善案について、自分の考えを伝えたり相手の話から取り入れる内容を考えたりしながら話し合い活動に参加する。☑	○
	・公演の成功のために責任をもって役割を果たそうとする。☑	◎
E (2年)	・ピンク役として、一つ一つの演技を大きく見せられるように意識して練習する。☑	◎
	・演技を見て感じた自分のよい点や課題を発表する。☑	○
	・公演の成功のために責任をもって役割を果たそうとする。☑	◎
F (3年)	・ドクガール役として出演シーンの流れを覚え、大きくキレのある演技をする。☑	◎
	・公演をよりよくするために、改善点について意見を出したり友達の考えを受け入れたりして演技を改善する。☑	◎
	・活動に見通しをもち、最後まで落ち着いた気持ちで役割を果たす。☑	◎
G (2年)	・フクシーヌ役として、登場シーンや戦闘シーンの順番を覚え、自信をもって演技する。☑	○
	・自分たちの演技を見て、よい点や課題について自分の考えをもち、グループの仲間に伝える。☑	◎
	・活動に見通しをもち、自分の役割に責任をもって取り組む。☑	◎
H (1年)	・ショッカー役として、自分の演技内容を考え、大きく演技する。☑	◎
	・出演シーンの演技について、自分の考えをもち、グループの仲間に伝えたり、他者の意見を受け入れたりする。☑	◎
	・活動に見通しをもち、仲間と協力しながら、責任をもって活動に取り組む。☑	◎
I (2年)	・ショッカー役として、自分の演技内容を考え、忘れずに演技をする。☑	○
	・自分の演技についてよい点や課題について意見をもち、グループの仲間に伝える。☑	○
	・活動に見通しをもち、積極的に参加する。☑	◎
J (3年)	・ダークオメガ役として、演技をゆっくり大きく見せることを意識して練習する。☑	◎
	・自分の考えを伝えたり相手の話を引き出したりしながら話し合い活動を進める。☑	◎

・公演の成功のために責任をもって役割を果たそうとしている。☑	◎
--------------------------------	---

【学習評価】評価基準：◎十分達成した ○おおむね達成した △まだ十分ではない

(1) 本時の目標

本時の計画 (13~14/39)								
本時の目標	本時は評価しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・通し練習の映像を見て、よい点と課題を見付け、改善案を出す。 ・グループでの話し合い活動で、意見を出したり受け入れたりしながら取り組む。 						
学習指導要領との関連 「何を学ぶか」		<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保健体育</td> <td>高等部 1 段階イ P64</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国語</td> <td>1 段階 A(エ)(オ) P52</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社会</td> <td>1 段階目標ウ P75</td> </tr> </table>	保健体育	高等部 1 段階イ P64	国語	1 段階 A(エ)(オ) P52	社会	1 段階目標ウ P75
保健体育	高等部 1 段階イ P64							
国語	1 段階 A(エ)(オ) P52							
社会	1 段階目標ウ P75							

(2) 本時で育成を目指す資質・能力の評価規準

本時の評価規準 「何ができるようになるか」	知識・技能 本時は評価しない。	思考・判断・表現 ・通し練習の映像を見て、よい点と課題を見付け、改善案を出している。	主体的に学習に取り組む態度 ・グループでの話し合い活動で、意見を出したり受け入れたりしながら取り組もうとしている。
----------------------------------	------------------------	---	--

(3) 学習の過程 (別紙参照)

(4) 板書計画

リングレンジャー出動！2025～自分も相手も大切に！仲間と仲良く学校生活を送ろう！

	レンジャー	リング団
めあて 練習を通して出たよい点と課題からショーの改善案を出し合おう！	よい点	<ul style="list-style-type: none"> ・動きを覚えている ・登場シーンよかった
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・せりふのタイミングに合わせて演技できた ・戦闘シーンが小さい ・もっとキレがほしい ・音響とのタイミング ・戦闘のタイミング△
	改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッカーの煽る動きがもっとほしい ・全体的に動きが小さい ・戦闘のタイミング△ ・動きを大きく見せる ・タイミングを合わせる

活動予定表
 ①めあての確認
 ②通し練習
 ③衣装を脱ぐ
 ④話し合い活動
 ⑤振り返りとまとめ

まとめ
 ショーを改善するために、次回の練習では、
 ①戦闘シーンでお互いのタイミングを合わせる。
 ②動きを大きく見せられるように部分練習する。

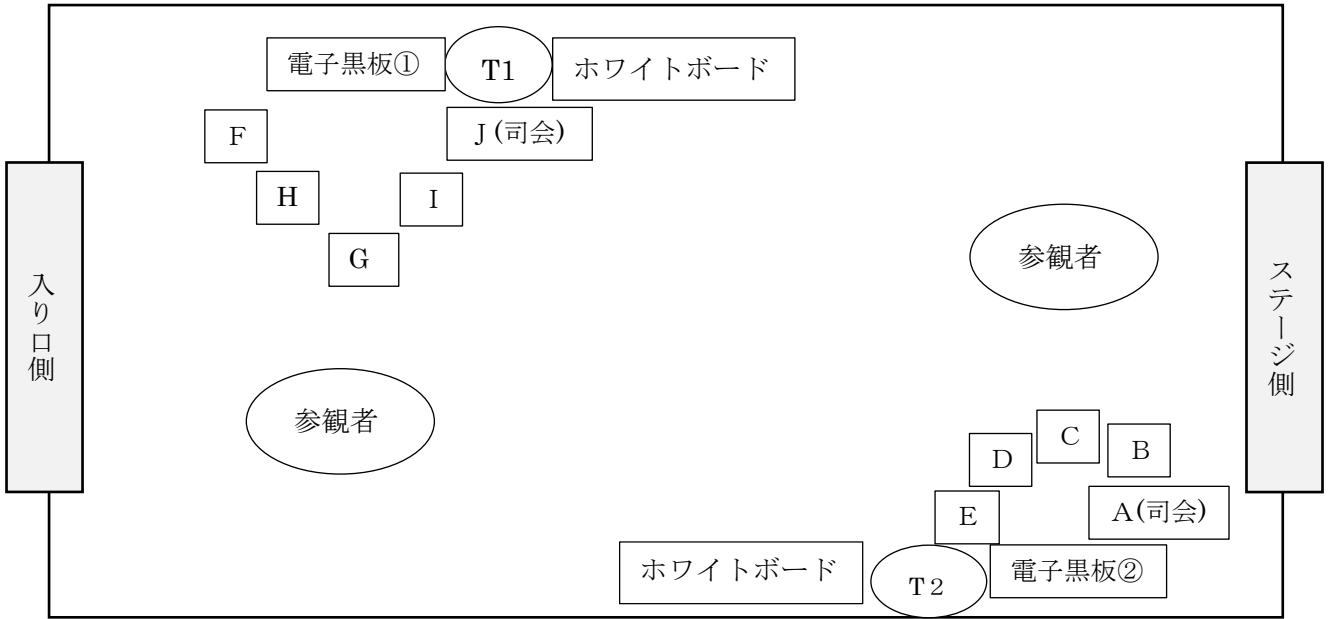
(3) 学習の過程

時間	学習活動	指導上の留意点 評価規準 【】 評価方法 ・児童生徒への働き掛け、手立て (*自立活動の視点も踏まえて記載)						
		全体	A (2年)	B (1年)	C (1年)	D (1年)	E (2年)	
9:40 (8)	※事前に衣装に着替える 1 挨拶 2 本時の活動内容 3 めあての確認	<ul style="list-style-type: none"> 全グループで活動内容やめあてを共有できるように、高等部全体で確認する機会を設ける。 						
練習を通して出たよい点と課題からショーの改善案を出し合おう。								
9:48 (7)	4 各グループの目標確認	<ul style="list-style-type: none"> 目標が分かって取り組めるように提示する。 						
9:55 (35)	5 通し練習							<ul style="list-style-type: none"> 練習後に見返すことができるように、撮影する。 本番を意識できるように、できるだけ支援を減らす。
10:30 (10)	～休憩～ ※衣装を脱ぐ							
10:40 (30)	6 練習動画を見て、よい点と課題を出し合い、改善案を検討する。	通し練習の映像を見て、よい点と課題を見付け、改善案を出している。(思)	話し合いの司会者として友達の意見を聞き、出た意見をまとめている。(思)	練習の動画を見て、よい点や課題、改善案を考えて発表している。(思)	練習の動画を見て、自分のよい点や課題に気づき、改善案を考えて発表している。(思)	友達の考えを参考にし、よい点や課題に気づき、改善案を考えて発表している。(思)	友達の考えを聞いて、自分の考えと同じかどうか意思表示している。(思)	
【話し合い・発言】		グループでの話し合い活動で、意見を出したり受け入れたりしながら取り組もうとしている。(主)	グループの友達から意見を出すことができるように、司会者としての役割を依頼する。	よい点や課題について考えることができるように、場面ごとに動画を止めて考える時間を設ける。	よい点や課題について考えることができるように、場面ごとに動画を止めて考える時間を設ける。	よい点や課題について気付くことができるように、意図的な質問を教師が行う。	友達の考えについて意思表示できるように、教師が2択の質問を行う。	
【話し合い・発言】		話し合い活動が充実するように、配置を工夫したり司会者を意図的に決めたりする。	場面ごとのよい点と課題について考えることができるように、話し合いの進め方を言葉掛けしたり手順表を示したりする。	司会者からの問い掛けに対して、考えを具体的に発表しようとしている。(主)	話し合いで出たグループの仲間からの意見を受け入れようとしている。(主)	司会者からの問い掛けに対して、考えを発表しようとしている。(主)	司会者や教師からの簡単な問い掛けに対して、自分の考えを伝えようとしている。(主)	
11:10 (10)	7 まとめ (各グループ→全体)	話し合いに集中できるように、記録は教師が行う。	自分から意見を発表したり、他者に発言を促そうとしたりしている。(主)	考えを具体的に話せるように、発問する。	グループの仲間からの意見を受け入れられるように、出された意見についてどう考えるか発問する。	司会者からの問い掛けに答えられるように、指名する順番を工夫する。	自分の考えを伝えられるように、教師が簡単な質問をし、発言の機会をつくる。	
11:18	8 次時について知る	次時の練習で改善する箇所を明確にするために、まとまった意見を板書する。	他者の発言を促すために、気になった演技について、具体的に問い掛けるように言葉掛けする。					
11:20	9 あいさつ	全グループで本時のまとめを共有するために、発表の機会を設定する。						

(3) 学習の過程

時間	学習活動	指導上の留意点 評価規準 【】 評価方法 ・児童生徒への働き掛け、手立て (*自立活動の視点も踏まえて記載)					
		全体	F (3年)	G (2年)	H (1年)	I (2年)	J (3年)
9:40 (8)	※事前に衣装に着替える 1 挨拶 2 本時の活動内容 3 めあての確認	<ul style="list-style-type: none"> 全グループで活動内容やめあてを共有できるように、高等部全体で確認する機会を設ける。 					
練習を通して出たよい点と課題からショーの改善案を出し合おう。							
9:48 (7)	4 各グループの目標確認	<ul style="list-style-type: none"> 目標が分かって取り組めるように提示する。 					
9:55 (35)	5 通し練習	<ul style="list-style-type: none"> 練習後に見返すことができるように、撮影する。 本番を意識できるように、できるだけ支援を減らす。 					
10:30 (10)	～休憩～ ※衣装を脱ぐ						
10:40 (30)	6 練習動画を見て、よい点と課題を出し合い、改善案を検討する。	<p>通し練習の映像を見て、よい点と課題を見付け、改善案を出している。(思)</p> <p>【話し合い・発言】</p> <p>グループでの話し合い活動で、意見を出したり受け入れたりしながら取り組もうとしている。(主)</p> <p>【話し合い・発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動が充実するように、配置を工夫したり司会者を意図的に決めたりする。 	<p>練習の動画を見て、よい点や課題、改善案を考えて簡潔に発表したり、他者の意見を受け入れたりしている。(思)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを簡潔に話すことができるように、教師が短くまとめて問い返す。 グループの仲間の意見を受け入れられるように、感じたことを話す機会を設ける。 	<p>練習の動画を見て、自分のよい点や課題について発表している。(思)</p> <ul style="list-style-type: none"> よい点や課題について考えることができるように、場面ごとに動画を止めて考える時間を設ける。 考えを話せるように、意見を引き出す言葉掛けや発問を行う。 <p>話し合いで出たグループの仲間からの意見を受け入れようとしている。(主)</p>	<p>練習の動画を見て、自分のよい点や課題に気付き、改善案を考えて発表している。(思)</p> <ul style="list-style-type: none"> よい点や課題について考えることができるように、場面ごとに動画を止めて考える時間を設ける。 <p>司会者や教師からの簡単な問い掛けに対して、自分の考えを伝えようとしている。(主)</p>	<p>練習の動画を見て、自分のよい点や課題について発表している。(思)</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いで出た意見をまとめることができるように、要点やキーワードを相談する時間を設ける。 <p>自分から意見を発表したり、他者に発言を促そうとしたりしている。(主)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者の発言を促すために、気になった演技について、具体的に問い掛けるように言葉掛けする。 	
11:10 (10)	7 まとめ (各グループ→全体)	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いに集中できるように、記録は教師が行う。 	<p>司会者の進行に沿って自分の考えを話したり、友達の考えを受け入れようとしている。(主)</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループの仲間からの意見を受け入れられるように、出された意見についてどう考えるか問い掛ける機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを発表できるように、自分の演技について評価するように言葉掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えを具体的に話せるように、教師が追質問を行う。 	
11:18	8 次時について知る	<ul style="list-style-type: none"> 次時の練習で改善する箇所を明確にするために、まとまった意見を板書する。 					
11:20	9 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 全グループで本時のまとめを共有するために、発表の機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのルールが分かるように、事前に進め方を全体に示す。 				

(5) 配置図 (体育館)



学習評価及び振り返り * 授業実施後に記載

(1) 単元目標に対する個別の評価規準の学習評価の欄に◎○△を記載する。

○その他特記事項は以下へ記載
特になし

(2) 本時の目標が達成できたかどうか個別の評価規準の学習評価の欄に、◎○△を記載する。

氏名 (学年)	本時の目標に対する個別の評価規準	学習評価 ◎○△
A (2年)	・話合いの司会者として友達の意見を聞き、出た意見をまとめている。[思]	◎
	・自分から意見を発表したり、他者に発言を促そうとしたりしている。[主]	◎
B (1年)	・練習の動画を見て、よい点や課題、改善案を考えて発表している。[思]	○
	・司会者からの問い掛けに対して、考えを具体的に発表しようとしている。[主]	◎
C (1年)	・練習の動画を見て、自分のよい点や課題に気付き、改善案を考えて発表している。[思]	◎
	・話合いで出たグループの仲間からの意見を受け入れようとしている。[主]	◎
D (1年)	・友達の考えを参考にして、よい点や課題に気付き、改善案を考えて発表している。[思]	○
	・司会者からの問い掛けに対して、考えを発表しようとしている。[主]	◎
E (2年)	・友達の考えを聞いて、自分の考えと同じかどうか意思表示する。[思]	○
	・司会者や教師からの簡単な問い掛けに対して、自分の考えを伝えようとしている。[主]	◎
F (3年)	・練習の動画を見て、よい点や課題、改善案を考えて簡潔に発表したり、他者の意見を受け入れたりする。[思]	◎
	・司会者の進行に沿って自分の考えを話したり、友達の考えを受け入れたりしようとしている。[主]	◎

G (2年)	・練習の動画を見て、自分のよい点や課題について発表する。【思】	◎
	・話し合いで出たグループの仲間からの意見を受け入れようとしている。【主】	○
H (1年)	・練習の動画を見て、自分のよい点や課題に気付き、改善案を考えて発表している。【思】	○
	・司会者や教師からの簡単な問い掛けに対して、自分の考えを伝えようとしている。【主】	◎
I (2年)	・練習の動画を見て、自分のよい点や課題について発表する。【思】	○
	・司会者からの問い掛けに対して、考えを発表しようとしている。【主】	◎
J (3年)	・話し合いの司会者として友達の見聞き、出た意見をまとめている。【思】	◎
	・自分から意見を発表したり、他者に発言を促そうとしたりしている。【主】	◎

【学習評価】 評価基準：◎十分達成した ○おおむね達成した △まだ十分ではない

○その他特記事項は以下へ記載
特になし

(3) 単元の評価規準と、本時の評価規準について、学習評価を行う。

単元の評価規準に対する学習評価	本時の評価規準に対する学習評価
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の感想から、いじめをしてはいけないことや友達と仲良くすることを伝えることができた。 ・公演を成功させるために、グループの仲間と演技内容を考え、それぞれが責任をもって練習に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通し練習の映像を見て、よかった点や課題を見付け、改善案について話し合いを行い、練習に生かすことができた。 ・グループの中で出された意見をそれぞれがしっかりと受け止め、その場で改善練習をするなど意欲的な態度が多く見られた。

(4) 単元全体を振り返る。(教師の支援・手立てを中心に)

○よかった点 (有効な支援・手立て等)

- ・見通しをもった活動となるように、導入で各グループの目標設定や活動内容、本番までの日数を確認する時間を設けた。
- ・演技について客観的に評価し、改善できるように動画撮影を行い、自分や友達の演技について改善点を出し合った。
- ・振り返りでは、ロイロノートを活用し、最初に立てた目標に対する成果と課題についてまとめた。繰り返し実施することで、自分の考えを整理したり言語化したりすることに慣れ、振り返りが具体的に書けるようになった。

●改善点

- ・様々なグループがあるため、全体としてのめあてとまとめを行うことが難しかった。今回の授業では、各グループで振り返りを行うことでまとめとした。
- ・文章による振り返りでは、生徒によって実態差があったため、文章の正確さや表現方法についてさらに支援が必要だった。